

1 保健事業実施計画(データヘルス計画)

○保健事業実施計画(データヘルス計画)とは
 ・健康・医療情報等を活用して、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための計画
 ・国保データベース(KDB)システム、診療報酬明細書および特定健康診査の結果等のデータを分析し、本市の健康課題を設定して、健康課題に対する保健事業の計画等を定める。

○「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)
 ・全ての国民健康保険組合と市町村国保にデータヘルス計画の作成・公表、事業実施、評価等の取り組みの推進が示されている。
○国の保健事業実施指針(平成16年厚生労働省告示第307号)
 ・市町村国保は計画の策定が努力義務とされている。

○本市のデータヘルス計画の策定予定および計画期間
 ・平成27年度 データヘルス計画策定
 平成28年3月策定完了
 平成28年4月公表
 ・平成28年度から平成29年度までの計画期間(2か年)

2 データヘルス計画の全体像について

○データ分析による現状把握
 ・介護保険のデータ
 ・国民健康保険のデータ
 ・特定健康診査等のデータ
 } データの分析に基づき、本市の現状把握

○健康課題の抽出と重点施策の設定等
 ・本市の現状から健康課題を抽出 → 健康課題に対する対策の方向性と重点施策の設定

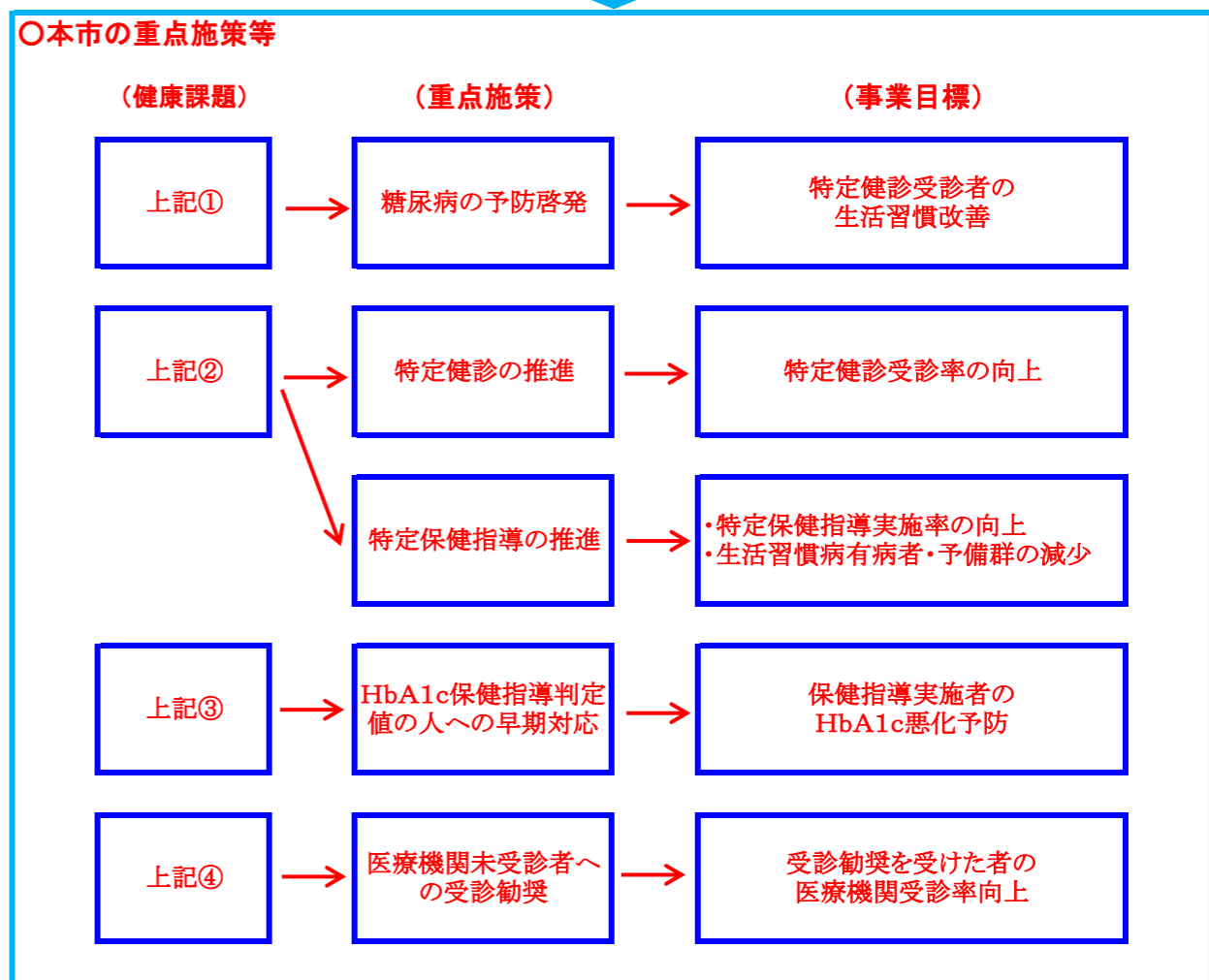
○重点施策の実施計画と目標・評価指標
 ・重点施策の実施体制、事業の目的と概要、対象者、現状と課題、改善の方向性、アウトプット(事業内容、現状値、目標値)、アウトカム(目標、指標、現状値、目標値)

○事業および計画の評価・改善・見直し
 ・目標の達成状況、事業の実施状況および成果に関する評価
 ・PDCAサイクルによる評価に基づく事業の改善および見直し
 ・最終年度に計画の評価および見直し

3 本市の健康課題と重点施策等

○本市の健康課題
 ①若い世代(40歳代以降)の糖尿病を含む生活習慣病患者の医療費と割合が増加していること
 ②特定健診の受診率、特定保健指導実施率が低い状況であること
 ③糖尿病の発症要因となるHbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)の数値が高い健診受診者が多いこと
 ④糖尿病等の生活習慣病が重症化し、医療機関への受診が必要な健診受診者が多数存在すること

※HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)とは、赤血球の中にある酸素を運ぶヘモグロビンに血液中の糖が結合したものであり、過去1~2か月間の平均血糖値を表す。



4 本市計画の位置づけ

・本計画は、本市の健康づくりに関する計画である「健康くさつ21(第2次)」に定める生活習慣病に関する施策を具体化するものとして、生活習慣病対策等の重点施策を実施します。
 ・本計画は、本市の糖尿病に関する指針である「草津市糖尿病対策ガイドライン第二期」との整合性を図りながら、糖尿病対策を含む生活習慣病対策等の重点施策を推進します。